

モモせん孔細菌病の 秋期防除を徹底しましょう!

県下全域でモモせん孔細菌病が多発しています。

本年度発病が多かった園では、発病葉からの感染により、翌春の春型枝病斑の多発が懸念されます。

秋期防除の徹底により、次年度の発病を防ぎましょう!

生態

本病原細菌は、8月以降も風を伴った降雨が多いと、葉から葉への二次感染を繰り返し、被害が拡大します。

9月以降は落葉痕や皮目から新梢の皮部組織に侵入して潜伏越冬し、翌春の春型枝病斑となります。



防除対策

◆秋期防除の1回目は9月10日頃まで!計3回の防除を!

本病の防除で最も効果の期待されるのは秋期防除です。9月10日頃までに1回目の防除を実施してください。その後は、2週間間隔で2回実施してください。

◆秋季剪定を実施しましょう!

秋期防除前に、あらかじめ秋季剪定を行い、薬液の透過性を高め、散布ムラのないように実施してください。

◆台風通過前に防除しましょう!

台風等で落葉した場合は、落葉痕からの感染が多くなるので、台風通過前に防除を実施してください。

◆防風対策を実施しましょう!

川沿いや水田に面している等、風当たりの強い園では、防風ネットを設置するなどの防風対策を行ってください。

※なお、使用する農薬は各地域の防除暦に準じますが、4-12 式ボルドー液又は IC ボルドー 412 は銅の投下量が多く、より高い効果が期待できます。

▼ ご不明な点がございましたら、下記にお問い合わせ願います ▼

最寄りのJA又は農林事務所農業振興普及部・農業普及所

病害虫防除所

Tel : 024-958-1709 Fax : 024-958-1727

E-mail yosatsu@pref.fukushima.lg.jp

農業総合センター果樹研究所

Tel : 024-542-4199 Fax : 024-542-4749

E-mail nougyou.kajyu@pref.fukushima.lg.jp